

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	交通安全施設等整備事業・交通安全対策特別交付金事業			事業コード	0710
担当課等	所属名	建設部 道路管理課	担当係名		
	課長名	建設部 道路管理課	担当者名	荒屋 洋介	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	安全な暮らし	コード 2	施策	市民生活を守る安全対策の充実	コード 3
	基本事業	交通安全の推進	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 8款 2項 6目 交通安全対策特別交付金事業(001-01) 一般会計 8款 2項 6目 交通安全施設等整備事業(001-03)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 **年度～)		
事務事業の概要	交通の円滑化を図り、併せて交通安全と事故防止のため、区画線、防護柵及び道路照明を整備する。					
根拠法令等	道路法第16条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
市道管理者が行う維持管理業務。経年の劣化等による区画線引き直し、施設の更新、要望等による新設、市道の安全通行の確保及び沿線環境の改善を図る。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
町内会・地域懇談会・議員等から多数の要望がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
安全で円滑な通行を確保する。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	対策の必要な道路とその利用者。	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 区画線設置 単位 km
				B. 防護柵設置 単位 m
				C. 道路照明灯設置 単位 基
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 区画線については経年による引き直しを、また、防護柵・照明灯については、経年による取替え及び新規要望路線への設置を継続実施した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度と同様に、緊急性、重要性等を考慮しながら計画実施する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 区画線設置 単位 km
				B. 防護柵設置 単位 m
				C. 道路照明灯設置 単位 基
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	交通安全施設の整備を行うことにより、歩行者を含めた、道路交通の事故防止を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 区画線設置 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 単位 km
				B. 防護柵設置 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 単位 m
				C. 道路照明灯設置 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 単位 基
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	交通事故から守られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	人口1万人当たりの交通事故発生件数:当市の数値/全国平均(人口は10/1現在)(単位:%) 人口1万人あたりの交通事故発生件数(単位:件)

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	区画線設置	km	44	42	54	48	58		年度
対象 指標B	防護柵設置	m	90	125	170	166	120		年度
対象 指標C	道路照明灯設置	基	1	3	2	5	3		年度
活動 指標A	区画線設置	km	44	42	54	48	58		年度
活動 指標B	防護柵設置	m	90	125	170	166	120		年度
活動 指標C	道路照明灯設置	基	1	3	2	5	3		年度
成果 指標A	区画線設置	km	44	42	54	48	58		年度
成果 指標B	防護柵設置	m	90	125	170	166	120		年度
成果 指標C	道路照明灯設置	基	1	3	2	5	3		年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	****
事業費	A	千円	10,651	11,949	20,207	21,126	17,043		****
財源 内訳	④国	千円	825	1,611	1,606	1,429	1,650		****
	⑤県	千円							****
	⑥地方債	千円							****
	⑦一般財源	千円	9,826	10,338	18,601	19,697	15,393	0	****
	⑧その他	千円							****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	10,651	11,949	20,207	21,126	17,043		****
	延べ業務時間数	時間	250	250	250	250	250		****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	0	****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	11,651	12,949	21,207	22,126	18,043	0	****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:市道の安全性が向上し、交通事故から生命を守っている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他 理由:
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由:要望に対して現地調査を行い、結果に基づいて継続的に対応する事業である。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容:市道の安全性を維持向上させることが目的であるため、事業を廃止・休止できない。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名:各種道路事業(都市計画・区画整理等) ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由:各種事業の目的(対象)の違いによる。区画整理事業等、他事業では対象路線が限定されている。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:適正な積算基準・仕様で実施しており、削減はできない。整備事業費のコスト削減には限界がある。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:積算業務については、電算化により既に業務量の削減に努めている。監督業務は目的物を完成させるのに必要不可欠であり、削減は困難である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革
改善方向

- ①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)
※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること
- ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？
(関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)

5. 課長意見

一次評価

- (1)一次評価者としての評価結果
- ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり
② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり
③ 効率性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり
④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり



- (2)全体総括(振り返り、反省点)
- ・交通安全と事故防止のため必要な事務事業である。
 - ・今後もコスト縮減等を図りながら、計画整備量確保に向け検討が必要である。

今後の方向性と改革改善案

- (3)今後の事務の方向性(改革改善案)
- 終了 継続
 廃止 休止
- 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)
 改革改善を行う
 事業統廃合・連携



方向付けの理由と改革改善の内容

工事コストの縮減等を検討し、事務事業の改善を行う。